社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

平成30年12月27日

計画の名称	酒田市中心市街地へのアクセス改善と賑わいを創出する社会資本整備													
計画の期間	平成３１年度　～　平成３５年度　(5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	酒田市													
計画の目標	狭隘な市道の整備や改築を行うことにより、有効幅員の拡幅や安全性を高め、特に冬期間の中心市街地へのアクセス改善や年間を通して観光施設等の賑わいを創出する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	1,667	A	1,667	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H35末
1	市道台帳の実延長調書より総市道延長に対する有効幅員５m以上の延長で割合を算出し、76.9%（H31当初）から79.0%（H35末）に増。			
	車道部幅員が５m以上確保されることで、冬期でも円滑で安全な走行が可能な道路延長比率。 （冬道安全道路整備率）＝（有効幅員5m以上の延長）÷（総市道延長）	77%	78%	79%
2	市の観光施設入込数について年間360万人を目標とする。			
	市の観光施設入込数 観光入込者数の数値は酒田市総合計画及び酒田市中長期観光戦略で定めている360万人を目標とする。	320万人/年	340万人/年	360万人/年

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	－
庄内北部定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A01-001								

案件番号：　0000056186

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	H32	H33	H34	H35	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	雪寒	酒田市	直接	酒田市	市町村道	除雪	（１）牧曽根庭田線ほか318路線	除雪　L=323.5km	酒田市	■	■	■	■	■	155		―
	A01-002	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村道	新設	（１）錦町坂野辺新田線ほか	新設・ﾊﾞｲﾊﾟｽ　L=0.41km	酒田市	■	■				444		―
	A01-003	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村道	改築	（他）住吉町4号線ほか	路肩改良　L=3.6km	酒田市	■	■	■	■	■	209		―
	A01-004	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村道	改築	（他）北新橋一丁目6号線ほか	路肩改良　L=4.1km	酒田市	■	■	■	■	■	236		―
	A01-005	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村道	改築	（他）亀ケ崎四丁目七丁目2号線ほか	路肩改良　L=4.1km	酒田市	■	■	■	■	■	234		―
	A01-006	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村道	改築	（他）若王寺線ほか	路肩改良　L=2.9km	酒田市	■	■	■	■	■	176		―

A 基幹事業

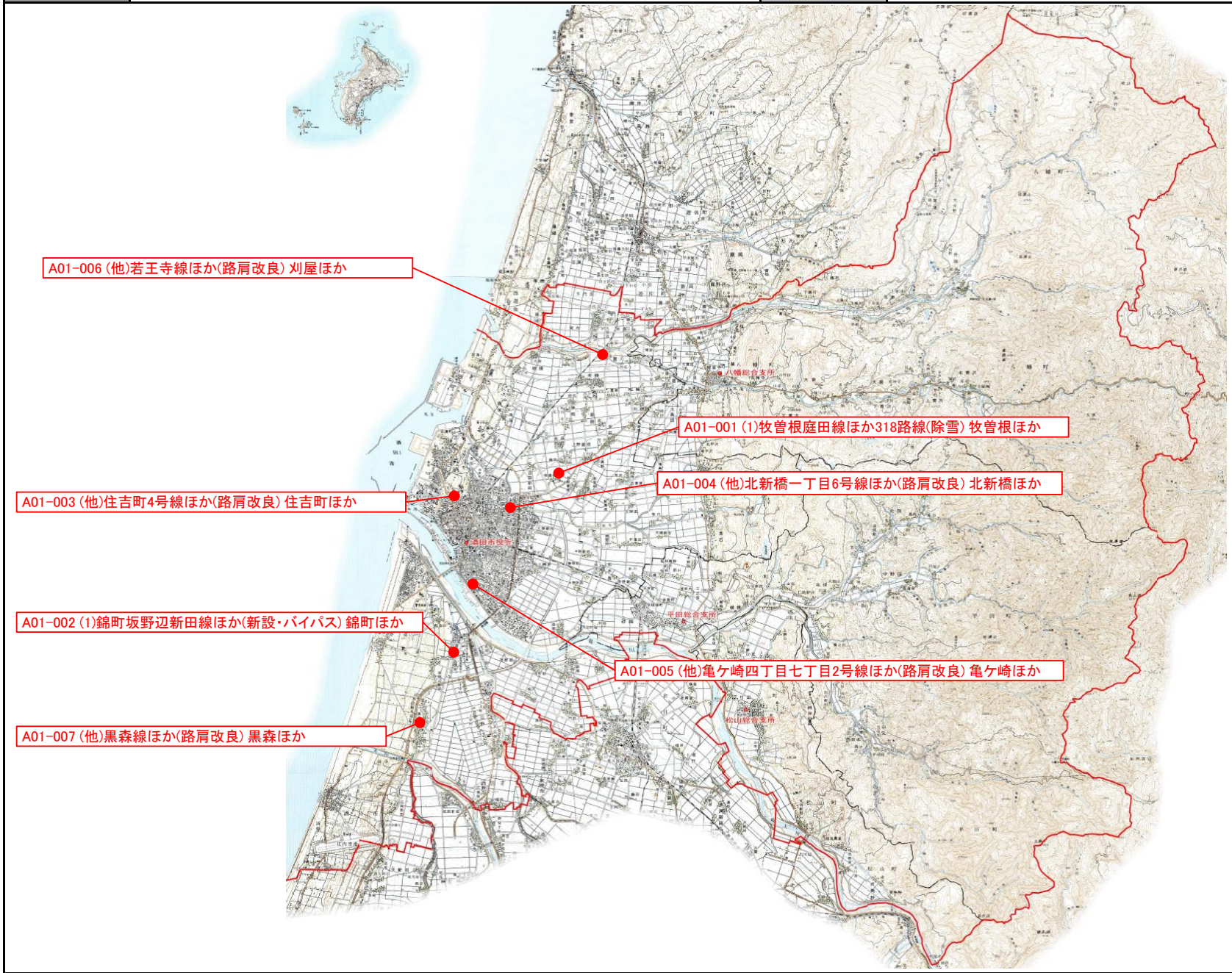
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	H32	H33	H34	H35	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村道	改築	（他）黒森線ほか	路肩改良　L=3.7km	酒田市	■	■	■	■	■	213		－
											小計						1,667		
											合計						1,667		

案件番号：　0000056186

別紙５－１

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	9　酒田市中心市街地へのアクセス改善と賑わいを創出する社会資本整備		
計画の期間	平成31年度　～　平成35年度　（5年間）	交付対象	酒田市



事前評価チェックシート

計画の名称： 酒田市中心市街地へのアクセス改善と賑わいを創出する社会資本整備

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性 １）上位計画（酒田市総合計画及び酒田市中長期観光戦略）と整合性が確保されている。	○
I.　目標の妥当性 ２）整備計画の目標が地域の課題解決へ向けた対応となっている。	○
II.　計画の効果・効率性 １）定量的指標が整備計画の目標達成へ向けた指標となっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ２）定量的指標の定義及び算定式がある。	○
II.　計画の効果・効率性 ３）事業内容が整備計画の目標達成へ向けた内容となっている。	○
II.　計画の効果・効率性 ４）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものになっている。	○
III. 計画の実現可能性 １）事業内容が法令に合致している。	○
III. 計画の実現可能性 ２）県（市）が実施することが妥当である。	○
III. 計画の実現可能性 ３）交付要綱の交付対象事業に合致している。	○
III. 計画の実現可能性 ４）計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○

案件番号：0000056186